

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立袋井特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	337人

1. 使用状況

寄贈物品名	巧技台
使用学年及び人数	小1～6年生 144人
使用頻度	運動会单元他、該当する单元ごと(月10回程度)
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月の運動会の種目、障害物走で、主に低学年が使用した。その他、主に体育のサーキットトレーニングなどで使用している。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高さを組み立てて調整できるため、運動会の障害物走の種目では、児童の運動機能に合わせて使用することができた。また、教師の補助が必要な高さの台と巧技台を組み合わせることで、児童が一人で挑戦できるようになった。 ○ 飛び乗る、飛び降りるといった目的だけでなく、組み合わせることで様々な用途で使用できるため活用幅があることが、効果的である。 ○ 以前から使用していた巧技台は木製のため劣化が激しかったが、新調したことで安心安全に活動できるようになった。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も継続して体育などの外の活動で活用していく。 ○ 体育用具と組み合わせてサーキットトレーニングのコース設営において、工夫を加えながら今後も使用していく。 ○ 木製のため劣化防止策として小学部倉庫に常時保管しているが、活用の幅をより広げていけるように保管場所を検討していく。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古い巧技台の時には劣化によるけが等の心配もあったが、更新されたことにより使用頻度が高くなると考えられる。また活用場所や活用方法を小学部で積極的に検討していく。

2. 活用の様子



運動会 たくさんの声援を受けて頑張りました！ これなら自信をもってできるよ！



1、2年生 障害物走 上手に渡ります。



この高さなら 頑張って渡れます！



初めは怖くて降りれなかったけれど…



かっこよく飛び降りることができました。